



子どもの森づくり通信

NPO法人
子どもの森づくり推進ネットワーク
子森ネット・定期リリース
(2011年3月)

〒144-0054 東京都大田区新蒲田1-10-4 tel:03-5711-0362 fax:03-5711-2264
http://www.kodomono-mori.net E-mail:info@kodomono-mori.net

「子どもの森づくり運動」とご縁をもたせていただいた方々に、活動情報をお送りさせていただきます。ご意見など賜れば幸いです。

東日本大震災で被災された方々に対して、心よりお見舞い申し上げます。

未曾有の災害の中で、被災された人々には悲しみと絶望にうちひしがれる日々がつづきます。

それでも子どもたちの未来のために、人々は立ち上がらねばなりません。

「子どもの森づくり運動」は、そんな被災された人々の「想い」を共有しながら、大地と心に新しい生命の苗木を植え、育む活動を継続して行きたいと思えます。



(目次)

1. 東日本大震災「JP子どもの森づくり運動」フラグシップ園安否情報
2. 「東日本大震災」被災地域園に対するお見舞いと激励メッセージ
3. 「子どもの森づくり運動」被災地支援活動へのご協力をお願い
4. 事務局からのお知らせ
(1)「JP子どもの森づくり運動」全国植樹活動キックオフイベント開催レポート
(2)2011年春の植樹活動、情報提供のお願い

■「子どもの森づくり運動」とは

今子どもたちは、高度な情報化社会の中でバーチャルな環境に取り囲まれ、本物の自然体験活動から遠ざけられています。しかし、子どもたち(特に幼少期の)は、変化に富んだ自然体験活動の中でこそ、五感を通じて豊かな感性や健全な環境意識、そして子ども本来の生きる力を育みます。「子どもの森づくり運動」は、全国の保育園・幼稚園を拠点に一貫した森づくり活動を通じて、幼少期の子どもたちに「生きる力」と「健全な環境意識」を育むための自然体験活動と環境学習の場を提供しようという全国運動です。

■「JP子どもの森づくり運動」とは

2008年より、日本郵政グループの特別協賛を得、都道府県に一園一事業、全国に普及活動の拠点づくりを目指すフラグシップ事業「JP子どもの森づくり運動」を展開します。

■「子どもの森づくり運動」運営体制

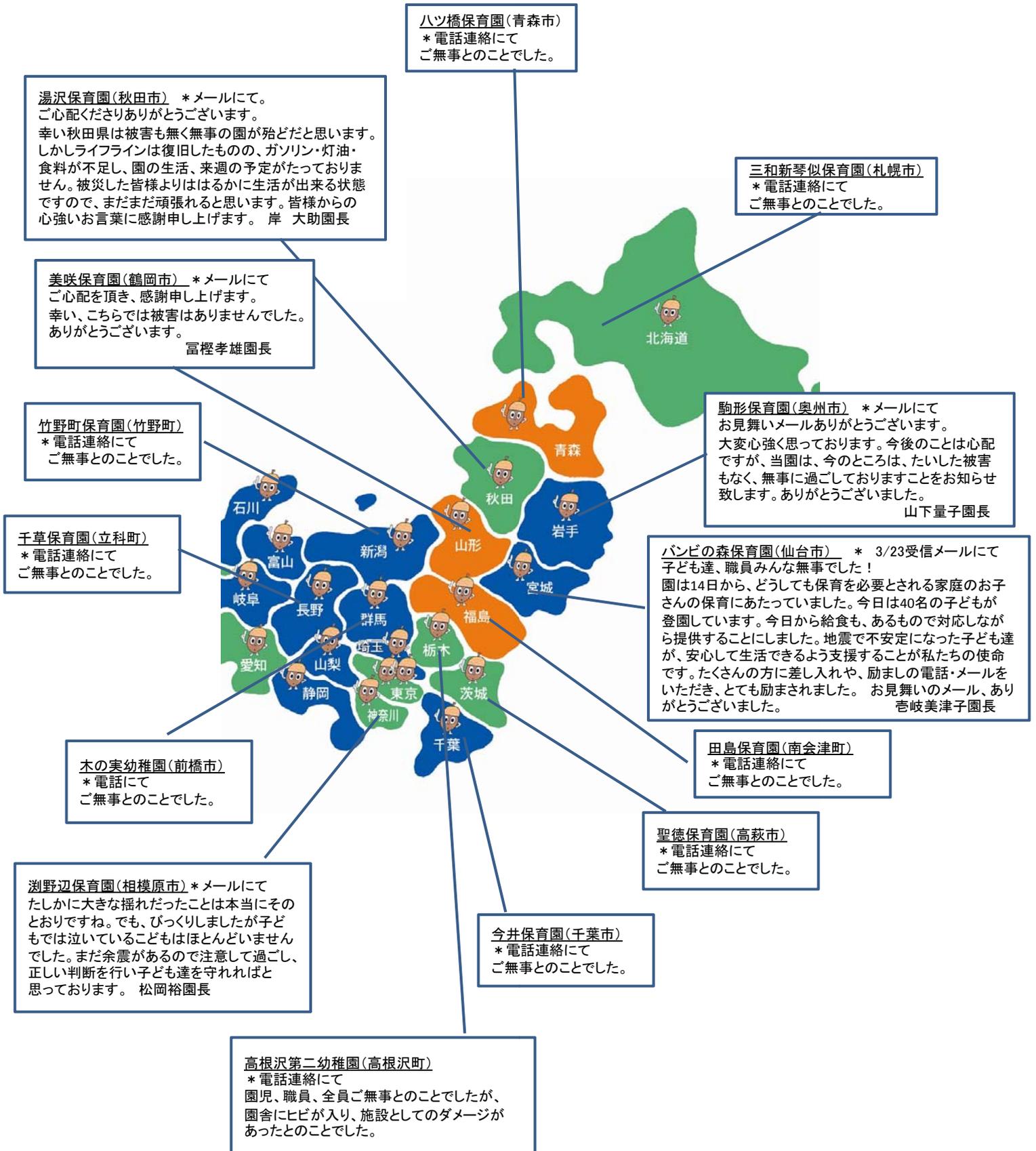
- ・運営 : NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク
- ・特別協賛 : 日本郵政グループ
- ・後援/協力 : (社)全国私立保育園連盟 (社)大谷保育協会
(社)国土緑化推進機構 NPO法人C・C・C富良野自然塾
全国森林インストラクター会 NPO法人自然体験活動推進協議会
NPO法人MORIMORI ネットワーク (社)日本オート・キャンプ協会
(株)実業之日本社 月刊ガルヴィ編集部



1. 東日本大震災「JP子どもの森づくり運動」フラグシップ園安否情報

今回の震災を踏まえて、各方面から、被災地域の実施園さんに対する安否情報の問合せがありました。

事務局では、震災直後、及び一週間後の2回、メール、電話等で主な被災地域園を対象に、お見舞いがてら安否情報を問合せさせていただきました。下記に情報提供させていただきます。



2. 「東日本大震災」被災地域園に対するお見舞いと激励メッセージ

被災地域の幼稚園・保育園さんに対して、全国のネットワーク園さんからお見舞いと激励のメッセージが届きました。スペースの都合で、その一部だけですが下記にご紹介します。

このたびの東北地方太平洋沖地震で罹災された皆様に、衷心よりお見舞い申し上げます。
今の状況では、一日でも早く普段の生活に戻ることをただ祈るばかりですが、必ずやこの手で復興のお手伝いをしたいと考えています。
北海道「三和新琴似保育園」園長 菊地 秀一

大自然の脅威の前に、なすすべもなく茫然とする私達。でも子どもは希望に満ちその瞳は光を失いません。
子ども達の未来のために今日、そして明日と一日一日を大切に思いやりと助け合いを忘れずに生きて行きましょう。
東京都「清心幼稚園」園主 清水 進

私のこれからの生き方も覆すような大震災に今、何が出来るかを自問自答し、被災地の皆様と共にあらゆる支援活動に携わることで、一日も早い復興を心から願っています。これからの人生、一生支援に向けた行動をしていく決意です。
大阪府「木の実保育園」園長 唐住 康雄

地震・津波といった自然のハタラクによって、自分を尽くして精一杯生き抜く大切さを知らされました。
すべての生命は無条件に、平等に尊い。子どもも、おとなも、どんぐりも。
福井県「大野幼稚園」園長 藤 兼量

今回の東北地方大震災で被災された皆様方には心よりお見舞い申し上げます。
災地の1日も早い復興と、子どもたちの心の大きな傷が少しでも早く癒えますように願っております。
福岡県「青い鳥保育園」園長 岡村 斉

東北地方太平洋沖地震の被災者の皆さまには、心よりお見舞い申し上げます。
厳しい冬の後には必ず春がやってきます。子どもたちが日々落ち着いて元気にどんぐり苗のお世話ができるようになりますよう、願っております。
日本郵政グループ 一同

3. 「子どもの森づくり運動」被災地支援活動へのご協力のお願い

皆様におかれましては、既にそれぞれ「東日本大震災」への支援活動に取り組んでいらっしゃると思われませんが、「子どもの森づくり運動」としても、「いま、わたしたちにできること」をテーマに、下記の支援活動に取組みたいと思っております。つきましては、あらかじめ支援活動の概要を回覧させていただき、皆様からのご意見、ご提案を賜ればと思います。よろしくお願い申し上げます。

<被災地支援活動案>

(1) 被災幼稚園・保育園支援活動

今回の震災で被災された幼稚園・保育園に対して、当該エリアのフラグシップ園、及び現地にて支援活動に関わっているNPOからの情報提供をもとに、本当に求められているモノ、ヒト、コトと、それらを提供する側とのマッチング活動を中心に、継続的な支援活動を実施します。

(2) 避難所内、託児・保育スペースの活動支援

被災地域、及び地域外に設けられた避難所において、自然発生的に託児、保育スペースが設けられました。

現地NPOからの情報によると、人、物資が不足がちで十分に機能してない状況とのことです。

そんな保育スペースの活動を継続的に支援して行きます。

上記活動への具体的なご協力依頼、及び活動レポートは、今後、当通信、及びホームページにて情報発信させていただきます。なお、支援活動の名義は、NPO法人子森ネットとして対応させていただきます。

4. 事務局からのお知らせ

(1)「JP子どもの森づくり運動」全国植樹活動キックオフイベント開催レポート

2011年に、全国30数カ所で開催されている「JP子どもの森づくり運動」のキックオフイベントとして、東京都練馬区「清心幼稚園」の子どもたちが、3年間、園で育てたどんぐりの苗木をサンシャインの植栽コーナーに仮植えします。植えられた苗木は、5月22日(日)「グリーンウェイブ」の日に千葉県植樹フィールドに植え換えられます。

・日	時: 2011年3月5日(土) 10:30~12:00	・会	場: サンシャインシティ「植栽コーナー」
・主	催: NPO法人子森ネット / 清心幼稚園	・特別協賛:	日本郵政グループ
・後	援: 国土緑化推進機構 / 美しい森林づくり全国推進会議	・協	力: サンシャインシティ



キックオフイベント開会式



「いちはら自然楽校」栗田さんのカービングデモ



「清心幼稚園」の子どもたちが苗木を植えました。



記念撮影

(2) 2011年春の植樹活動、情報提供のお願い

現在、事務局担当スタッフ、及びインストラクターより、今年の植樹活動日の確認の連絡を入れさせていただいております。まずは、春(4月~6月)に活動を予定されておられる実施園さんから活動の詳細を調整させていただいておりますが、今年、春の植樹活動を予定されておられる園で、まだ事務局との日程確認がとれていない実施園さんがいらっしゃいましたら、お手数ですが事務局宛ご連絡いただけますようお願い申し上げます。

なお、活動サポートは、事務局、地域インストラクター及びサポーター、日本郵政グループの協働体制の中で実施させていただいております。そのため、それぞれ関係各所の日程調整等に、若干時間が必要です。今後、活動日の設定や変更は、可能な範囲で余裕を持った日程でお願いできれば幸いです。

日本郵政グループの社員さんたちからは、2011年もサポートメンバーとして、できるだけ一緒させていただきたい旨のお申し出をいただいております。